

海の人材育成に関する国際シンポジウム

2016年7月19日～20日 | 日本・東京

セッション2：海洋環境の保全

Photo credit: Nick Hall

マウイ・ヌイ・マカイネットワーク

ハワイ州マウイ郡

1) 当プロジェクトの主眼点

マウイ・ヌイ・マカイネットワークの目的は、マウイ・ヌイ島のコミュニティによる沿岸地域や海域への配慮を手助けするために、様々な経験、教訓、ベストプラクティスを共有し、そこから学びを得ることにある。「アロハ」の精神で共に活動することにより、メンバーたちは自分自身を向上させ、互いに高め合い、島のために好ましい変化のスピードを加速させる。本ネットワークの取り組みは、コミュニティと生態系のバランスを回復させ、食糧安全保障のために漁業資源を増やし、持続可能な漁業慣行を促進し、彼らの取り組みの効果を追跡するために海洋資源の科学的モニタリングを行うことを狙いとしている。

地理的中心地はマウイ郡である。本ネットワークは、ハワイの4つの島々にある6つの沿岸コミュニティのために活動している。メンバーのコミュニティグループは、モロカイ島のホイ・マラマ・オ・モオオモミ、東マウイのキーパフル・オハナとナー・マモ・オ・ムーオレア、中央マウイのワイルク・アフプアアコミュニティ自主的管理マカイエリア [海域] (CMMA)、西マウイのポラヌイ・ヒウ、ラナイ島のマウナレイ・アフプアア CMMA である。

設立時の合意書には次のように書かれている。「我々はふるさとの島への愛に動機付けられ、沿岸海域の持続可能性について懸念している。我々の取り組みにより、主要なハワイの伝統的価値と慣行が持続する。我々の島々が繁栄し、将来の世代にとって豊かであることを確実にするため、我々は謙虚に魚を優先させる。我々の共同保護活動は、資源に関するハワイの豊かな伝統的知識と管理に基づいており、身近な参加型の活動である。我々は共に、コミュニティや世代を超えて、陸と海との関係を回復する。」

2) 参加組織およびその他のパートナー

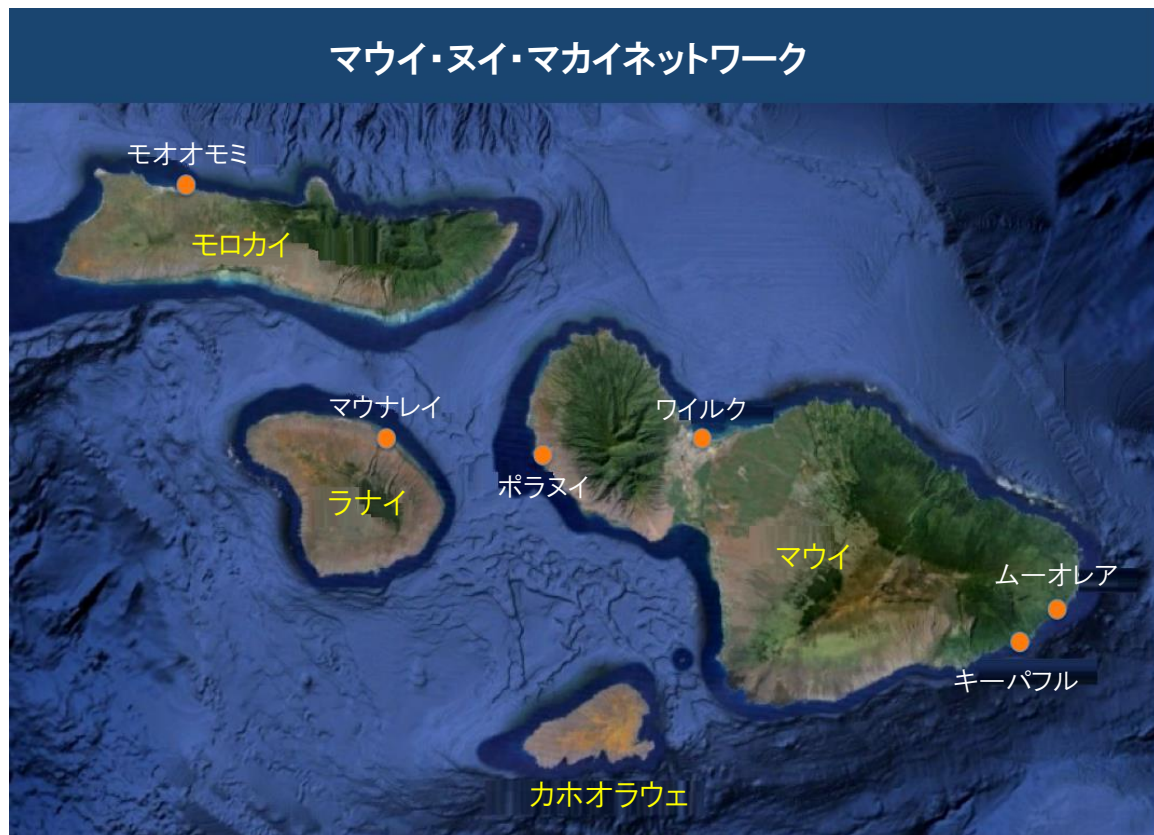
マウイ・ヌイ・マカイネットワークは6つのコミュニティにより設立され、マウイ・ヌイ島の人々が依存する沿岸生態系を保護し、回復させるために、2010年に共に活動を開始した。2013年には、本ネットワークは正式に活動を開始し、2015年に非営利組織となった。自然管理委員会、ハワイ海洋計画、マウイ・ヌイ島海洋資源調査会の全てが集まり、CMMAのためにこの学習ネットワークを支援している。

3) 能力開発において効果が証明された活動やツール

ハワイでは、貴重な海洋資源を保護し、持続的に管理するための漁業管理は、地域コミュニティと州パートナーの能力に左右される。継続的な保護の成功は、我々が活動する場所に住み、その場所を大切に思う住民との強い協力関係を築くことに左右される。本ネットワークでは、共同学習ネットワーク方法を取っている。その理由は、それが、再びコミュニティ同士や特別な場所、伝統的な資源管理方法とを結び付ける強力で効果的な方法だからである。力をつけたコミュニティが海洋資源に配慮し、責任を持つことにより、保護の成果を確実に持続させることができる。

この学習ネットワークの生物文化的方法は、島のコミュニティの全般的な健全性を支援する保護の取り組みに重点を置いている。この方法では、天然資源管理に関する地元の知識、伝統、知恵に敬意を払い、それらを大切にしている。本ネットワークでは、人々、自然、文化の間に反応が見られ、健全な土地と水が、繁栄した健全なコミュニティを支え、可能にすることを理解することから始まる。この学習ネットワークの能力開発の取り組みは、あらゆる年齢のコミュニティメンバー、漁師、政策決定者を対象にしている。本ネットワークは、公式の実践的な現地学習機会、交流を合わせたものが、世代間およびコミュニティ間の両方で、問題解決型の知識を共有し、伝達するために効果的で、強力であることを発見した。

<https://www.facebook.com/mauinuinetwork/>





2015-16 MNMN 代表 : ジェームズ・カーピオ <Wailukucmma@gmail.com>
コーディネーター : エミリー・フィールディング efielding@tnc.org およびマニュエル・
メヒア mmejia@tnc.org

マウイ・ヌイ・マカイネットワーク (Maui Nui Makai Network)
c/o The Nature Conservancy
P.O. Box 1716
Makawao, HI 96768